

## 中世の隈本城から近世の隈本(熊本)城へ

熊本城調査研究センター 鶴嶋俊彦

### 1. 清正は 新旧二つの「くまもと城」を造った

古城：天正18年(1590)着手

新城：慶長4年(1599)着手 \*寛永21年(1644)、細川光尚代に普請を中断(実質完成)

### 2. 「古城(ふるしろ)」の地名の由来

(1)現在、中世の隈本城を古城と云っている

(2)江戸時代17世紀第3四半期まで史料では加藤清正築城の新城に対する「古城」

(3)江戸時代の地誌類で寛文6年(1666)の『国郡一統志』の「隈本古城」は中世の隈本城

(4)17世紀後半の『古城主記』では隈本城主として出田氏が初めて登場(千葉城は出てこない)

(5)宝永6年(1709)の『肥後地志略』では、出田～加藤まで古城が城地

(6)明和9年(1772)の『肥後国志』で出田氏「千葉城」が初出。鹿子木～加藤まで古城。〔現代の定説〕

(7)1978年、森下功「熊本城」『日本城郭大系』は、『肥後国志』を踏襲。南朝方隈本城の存在触れる。

(8)1996年、富田紘一「白川・坪井川流路と城下町の形成」。中世城は「古城」、清正の古城は国立病院。

(9)2001年、森山恒雄『新熊本市史』近世編で、中世隈本城を古城地区、清正の隈本城本丸を国立病院。

### 3. 発掘調査で現れた中世城

調査地区：熊本城遺跡群古城上段(二の丸1-5) 調査主体：熊本県教育委員会

調査期日：平成14年8月～同15年3月

調査理由：国立熊本病院(看護学校)新築工事

調査面積：2,200㎡

検出遺構：〔中世〕柵、櫓、横堀、掘立柱建物、(道路遺構)

〔近世〕(加藤期)道路遺構、掘立柱建物、地下式倉庫、溝

出土遺物：〔中世〕土師質土器、磁器、瓦質土器、

〔近世〕陶磁器、瓦、煙管、銭貨、焼塩壺、土人形、鉄滓

### 4. そもそも「隈本」はどこなのか？

(1)「隈本」という地名の初見は、観応2年(1351)伊東氏祐軍忠状の「隈本在陣」

(2)「隈本城」という城名の初見は、永和3年(1377)大嶋堅軍忠状の「隈本城」

★向城(対城)の藤崎城(陣)との関係がヒント⇒隈本城は茶臼山の一角

### 5. 茶臼山台地の環境

(1)自然環境：比高が東側で38m、西側で23mの急崖が発達。台地周囲に坪井川・井芹川・白川。

(2)人文環境：7世紀後半には火の国の中心地？幹線道が通過し関が置かれた？〔白川が境界カ〕

8世紀～9世紀は飽田国府や大道寺廃寺の造営で肥後の中心地。

国府は南北朝初期まで継続し、武家方が本拠として菊池との間で合戦を繰り返す。

## 6. 中世隈本城に関わる事件

- (1) 永和3年(1377)、南朝方(菊池氏)の城で北朝方は対城として藤崎城を警固
- (2) 応永4年(1397)、九州探題渋川満頼、くまもとの城を菊池武朝に持たせるカ
- (3) 文明4年(1478)、菊池氏代官の出田山城が藤崎宮惣政所を務める(出田氏は城代?)
- (4) 文亀2年(1502)、亡命していた菊池武運が隈本城に出田一族と一時在城
- (5) 永正17年(1520)、大友義鑑の弟菊法師丸〔菊池重治〕が入城。鹿子木親員が補佐。
- (6) 天文3年(1534)、菊池義宗(重治)肥後退出。大友義鑑方老者の鹿子木員久・赤星重冬ら9人在城。
- (7) 天文8年(1539)、鹿子木親俊・田島重賢ら大友方が在城。
- (8) 天文19年(1550)3月、菊池義武(義宗)が隈本在城。8月に没落し、大友勢が着陣。
- (9) 天文19年(1550)、肥後守護が大友義鎮、守護代志賀親安、方分(かたわけ)に小原鑑元。

城親冬が山鹿から隈本に移る。(鹿子木氏の没落)

- (10) 天正8年(1580)、島津氏が味方となった城親賢に援軍を送り、(藤崎宮)内宮に籠る。
  - (11) 天正15年(1587)4月、城久基が秀吉に城を明け渡し、秀吉が三日滞在。
- ★ 対城の位置から矢が届かない距離、地形的な要地の現国立病院用地は「隈本城」の有力候補地
  - ★ 数度にわたり守護(復権を目指した)菊池氏が在城した菊池氏所縁の拠点城郭
  - ★ 鹿子木氏や城氏は肥後の方分(かたわけ)として大友氏の意向を代行する立場

## 7. 中世隈本城の構造を考える

- (1) 鹿子木の楠原城
  - (2) 城氏の城村城
- ★ 切岸(人工的な崖)主体で、単郭に帯郭や腰郭が付く程度の単純な構造。

## 8. 絵図から読み解く中世隈本城

- 最高所の主郭は東西60m 南北70m 北側に堀切、東・南に縦堀や切岸で圍繞される  
主郭西側斜面は二段から三段の腰郭  
全体は東西300m、南北300mの規模、中世城としては広大(大人数による防御を想定した構造)
- ★ 楠原城や城村城に類似した単郭の城郭
  - ★ 幹線道を押さえる要地として南北朝初期から菊池氏が使用した城郭

## 9. 千葉城は城跡か?

- (1) 西側の切岸高が低い(防御が弱い)
  - (2) 玉川は水抜き溝で、地形上、堀切の存在は怪しい
  - (3) 東竹之丸の高台から狙われやすい低地
- ★ 城として不都合な点多いが・・・
  - ★ 東側屋敷地中央の土塁状の高まりは、北側の急傾斜と南側の高い崖(岸)に対応した場所に設定  
⇒ 防御性を考慮したものであれば主郭防衛施設の可能性あり